

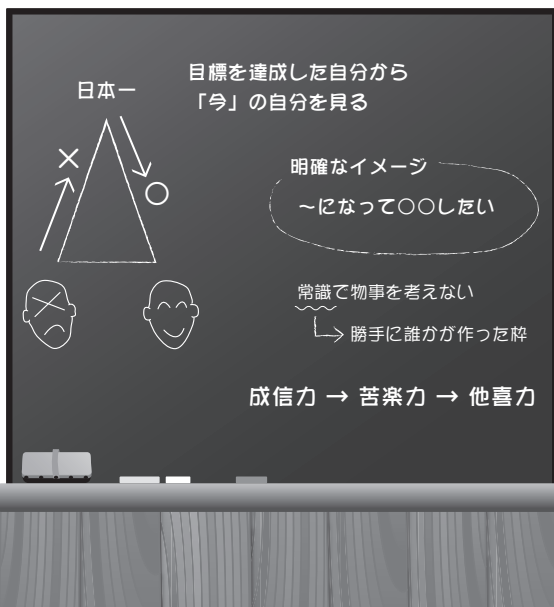
強豪校の練習法 ～チーム練習&トレーニング編～



千葉・浦安市立浦安中学校野球部監督
成田俊 (なりた・しゅん)

1981年生まれ、秋田県出身。大館鳳鳴高～立教大。2011年秋に浦安中を率いて千葉大会準優勝、関東大会優勝を果たす。技術指導やマネジメントに対する探究心に定評があり、異分野からも知識・練習法を取り入れているアイデアマン。

成田監督の板書



のだろうか。

成信力・苦楽力・他喜力

まずは、上の黒板を見てほしい。これは、ビクトリーインタビューを始めるときに、成田監督が黒板に書いたキーワードである。左にある三角形の頂点には「日本一」の言葉。そして、笑っている顔と、へこんでいる顔がある。いったい、どういう意味なのだろうか。

「目標を達成した自分から、『今』の自分を見る、ということ。このほうが、目標の達成をイメージしやすくなります」

これが、ニコニコ笑顔のほうだ。日本一を果たしたところから逆算して物事を考えていく。

へこんでいる顔は、今の自分から未来の目標を見ることが決って間違ったことではないが、困難にあったときに、なかなか乗り越えられないという。

「質問項目にもつながっていくますが、目標を達成したところから考えることで、成信力を身につけてほしい。成信力、苦楽力、他喜力がキーワードです」

いずれも、初めて耳にした選手

が多いかもしれない。

・成信力Ⅱ 成功を信じる力。

・苦楽力Ⅱ 苦しいこと困難なことを楽しむ力。

・他喜力Ⅱ 周囲を喜ばせる力

こんな意味がある。

この3つのキーワードが、質問に盛り込まれているのだ。

具体的にとどのような質問があるのか。はじめに、『凡人でもエリートに勝てる人生の戦い方』から紹介したい。

① 勝利の要因は何だとお考えですか？

② 戦略・戦術面での勝因をうかがえますか？

③ この1年、チームとして苦しい時期もあったと思うのですが、振り返っていかがですか？

④ その危機を、どのように乗り越えられたのでしょうか？

みんなであれば、どのように答えるだろうか？

③と④には「苦楽力」が入ってくるだろう。どのチームも順風満帆に物事が進んでいくわけではない。必ず、頂点にたどりつくまで

中学野球太郎LABO

中学軟式

シニア

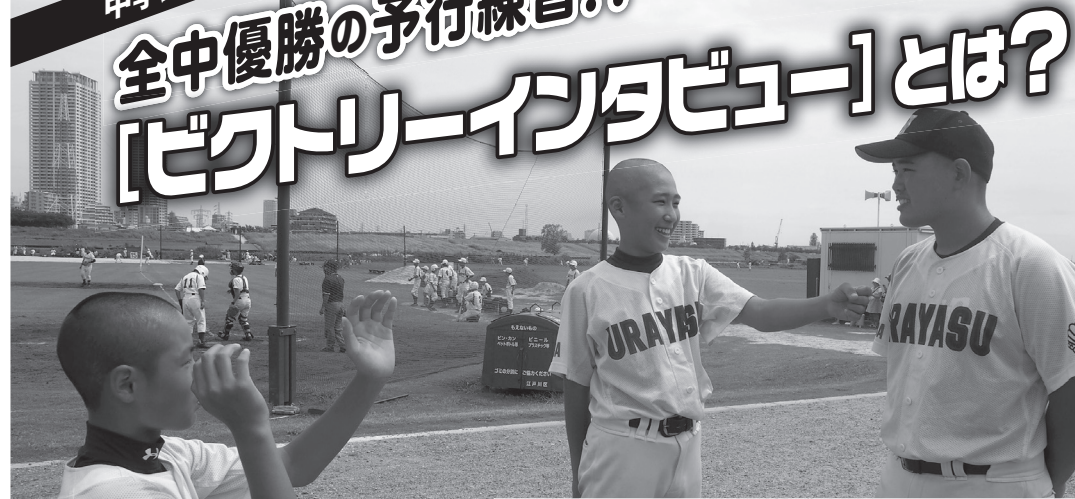
ボーイズ

ヤング

高校

全中優勝の予行練習!?

「ビクトリーインタビュー」とは?



【取材先】
千葉・浦安市立浦安中学校野球部監督
成田 俊 ※

中学球界の斬新な練習法に迫る中学野球ラポ。今回は千葉・浦安市立浦安中の「ビクトリーインタビュー」。来年の「全中優勝」を想定して勝者インタビューの練習をするというのだ！ その練習の真意とは——!?

(取材・文=大利実)

インタビューで目標達成!

「うちの野球部では『ビクトリーインタビュー』をやっているんですよ」

千葉・浦安市立浦安中の成田俊監督から耳慣れない言葉を聞いた。2011年秋の関東大会で優勝経験を持つ指導者だ。2015年夏は、当時のエース・角谷幸輝投手が、千葉・専修大松戸高の背番号10を着けて甲子園で好投した。

ビクトリーインタビュー?

そのまま訳せば「勝利のインタビュー」。取材の練習だろうか？話を聞いてみると、ちよつと趣旨が違つらしい。

「来年の夏、全中で優勝したあとに報道陣からインタビューを受ける。そこで取材を受けている自分をイメージしながら、いくつかの質問に答えていくのです」

自分がヒーローになったつもりで、インタビュー用紙に言葉を書いていく。その後、選手役、カメラマン役、記者役に分かれて、インタビューを進めていくのだ。たしかに、全中で優勝となれば

報道陣の取材がある。私もそこにいるひとり。ほぼ必ず聞いているのが「日本一になった原動力は?」。このような質問に対して、日本一になる前にあらかじめ答えをしておこうという試みだ。

成田監督によると、1冊の本がヒントになったという。

それは、『元電通マンの教師が教える 凡人でもエリートに勝てる人生の戦い方』(すばる舎/星野明宏著)という本だ。電通とは大手広告代理店のこと。大人になれば、誰もが知る一流企業だ。電通を退職して私立高校の教員になった著者が、静岡聖光学院高のラグビー部を率いて、全国大会に出場した話である。

じつは、この本の中に、ビクトリーインタビューの話が載っている。成田監督は中学校の野球部向けに質問をアレンジして、取り入れたという。

今回の「中学野球太郎LABO」は、このビクトリーインタビューがテーマ。取材を受けた経験があるという球児は、少ないはず。はたして、ビクトリーインタビューによって、どんな効果が生まれる

※2015年9月に掲載された記事です。記事中の成績や肩書きなどは掲載時のものです。
※成田俊先生は現在、高洲中野球部監督。